

位置情報付与サービスの開発

—位置情報を取り扱うソーシャルメディアサービス—

1. 背景

現在インターネット上では、位置情報を活用したサービスへのニーズが高まりを見せている。ユーザは、インターネット上の膨大なコンテンツをどうやって整理し利用するかという課題に直面しており、その解決方法のひとつとしてコンテンツを位置情報をキーにして検索するという可能性に注目が集まっている。一方、携帯電話のGPS機能搭載率の増加や、GoogleMaps等に見られる地図サービスの普及という状況があるものの、コンテンツに位置情報を付与する手間が非常に大きいため、ユーザが主体的に位置情報を利用するには未だに敷居が高いという課題が存在する。

2. 目的

インターネット上のコンテンツに簡単に位置情報を付与することで情報を管理し、ユーザにとって最適なコンテンツを検索・提示可能なソーシャルメディアを構築する。具体的には、開発者が保有する位置情報集約システムに対して、次の機能を追加し、多数のユーザがコンテンツに位置情報を付加し蓄積していくことで、ユーザが共同でサイトを育てるサービスを提供する。

3. 開発の内容

(1) 検索機能(Web)

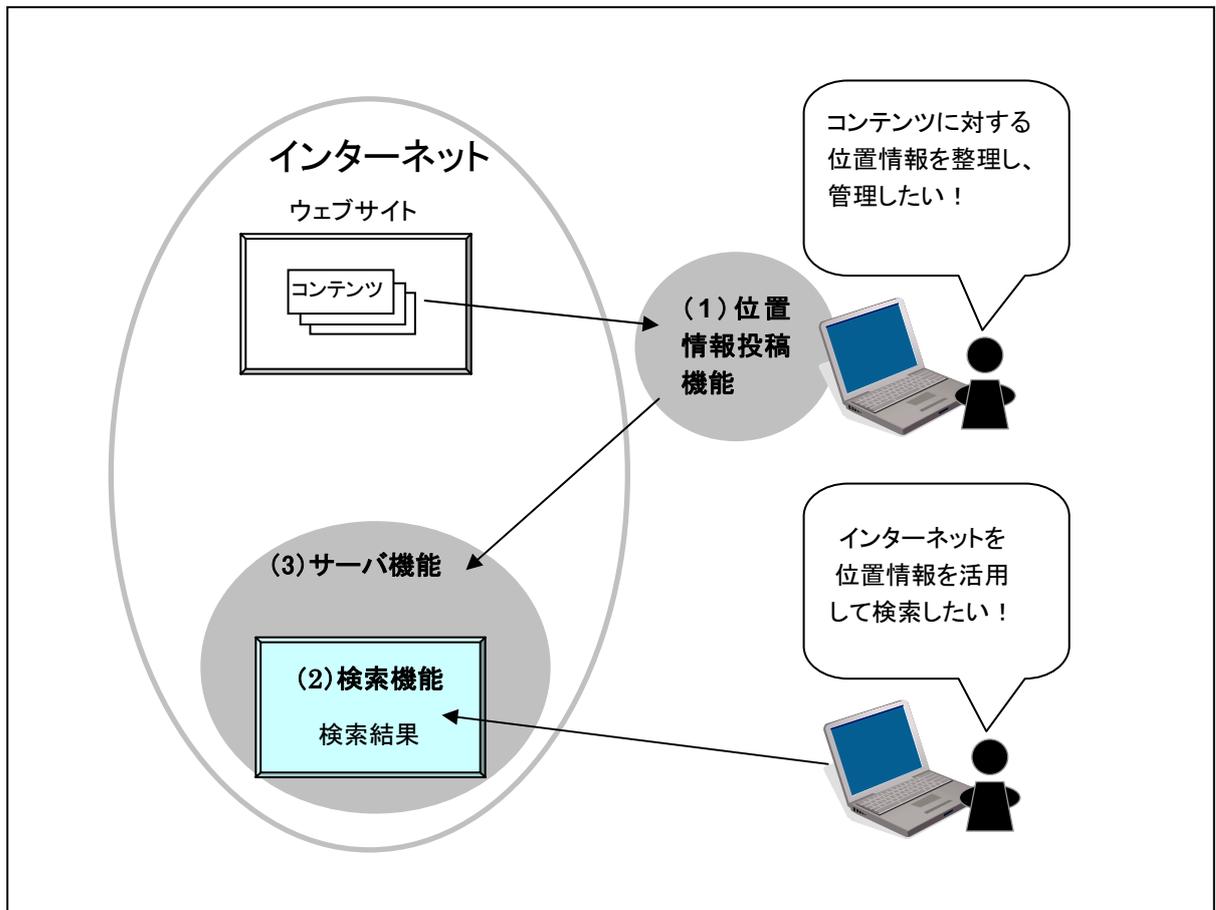
位置情報やタグを検索キーとして、WebAPIを介してサーバにコンテンツの存在を問い合わせ、検索結果を検索サイトに表示する機能。位置情報は地図上で空間を指定することで指定するものとし、タグは入力フォームからの入力によって指定する。検索結果は地図上にマッピングされたかたちで表示する。

(2) 位置情報投稿機能

コンテンツに位置情報とタグを付与し、付与された位置情報とタグ等をサーバへ投稿する機能。

(3) サーバ機能

登録を要求されたコンテンツの位置情報を登録するための位置情報登録機能、検索リクエストに対して位置情報データベースを検索し登録情報を返却する登録情報検索機能、外部ネットワークから、HTTP でこれらを利用するための WebAPI 機能。



概念図

4. 従来の技術(または機能)との相違

位置情報を取り扱う既存のサービスは、総じて位置情報を登録する際に必要となるユーザの手間が煩雑であり、敷居が高い。これに対し本サービスでは、ユーザの位置情報登録時の簡便さの追及を徹底して行い、誰もが簡単に位置情報を活用できることを主眼に置いて開発を行なった。

また登録後の位置情報を有効に活用するための本格的サービスも市場には見られず、位置情報の集積と活用を中心に据えたサービスという意味においても、本サービスは特化したものであると考える。

5. 期待される効果

本件で開発されたサービスの目指すところは、位置情報を軸としたソーシャルメディアの構築である。位置情報を利用する際の敷居を引き下げることにより、多くのユーザが本サービスを活用すれば、その利用数の伸びとともに膨大な量の位置情報の蓄積が期待できる。

また蓄積された位置情報は、その絶対量の増加にあわせて多様な活用が可能となり、ユーザの便益が飛躍的に向上すると考えられる。

6. 普及(または活用)の見通し

今後の普及の見通しとして、2008 年度には、月間 20 万ページビュー程度を目標とする。

7. 開発者名(所属)

本件の開発と事業化は、株式会社リネンによって行なわれた。

(参考 URL)

株式会社リネン ホームページ

<http://rinen.cc>